

「弟路郎 生まれ故郷へ」

円山動物園サポートクラブの皆様、こんにちは。

新年度もスタートした今月の3班からのお便りでは、当園のボルネオオランウータンが暮らす施設・「類人猿館」をいよいよ新しくするために、彼らを一時的に今の施設では飼育できなくなるということについて、その詳細をお伝えしたいと思います。

現在、円山では24才のオス・弟路郎(テイジロウ)、22才のメス・レンボーとその子、1才のオス・令斗(レイト)の3頭を飼育しています。

完成は2023年末頃(予定)…しばしのお別れが近づいています。

新しいすみかを

「いよいよです」

今の類人猿館ができたのが1977年。



老朽化が進み、安全な飼育展示の確保が困難となりつつあり、改築を行うことが決まったのが一昨年でした。

古いとはいえ、思い出と思い出のたくさんつまった今の類人猿館です。

ここで育んだ技術と思いが繋がる施設に。

彼らの「新しいすみか」のコンセプトは、

—オランウータンの生態と動物福祉に配慮して、立体的で十分な広さを確保しながら、彼らが本来もつ行動を引き出すことができる、そして、生息地ボルネオの生物多様性を肌で感じられるような空間—

園として新施設の設計に昨年より取り組みつつ、レイトの成長とともに3頭と忙しくもなごやかな日々を送ってきました。



そうしながら、時はあっという間に過ぎ…

「いよいよ」…その工事が始まるのです。。

弟路郎 釧路へ

この工事の間、オランウータンたちは違う場所で元気に過ごしてもらわなければなりません。

レンボー・レイトの母子は、園内の動物病院を改修することで飼育を継続できるのですが、体が大きく力が強い弟路郎については、頑丈な飼育施設が必要であり、その上で最低限の動物福祉を確保できる条件に見合う施設を園内では準備できないと判断したことから、他園に預かっていただくことになりました。



実は、弟路郎を預かっていただく園館を探すことは、建設の決まるずっと前の2016年から始めました。

動物園で行う全ての事柄の大前提は、飼育動物の命が守られること、育まれることです。私はそう考えます。

この時点では建設は決まっていますが、市民の皆様のご理解とご協力を得て将来的に新施設を彼らに作りたい…と考えれば、建設期間中の彼らの処遇は、最優先に考えるべきことがらでした。

慎重に検討を重ねながら候補を絞り、打診とお話し合いを進めてきました。

成獣のオスのオランウータンを飼育することは大変なことなので、話し合いも時間を要しました。

そんな中、当園として預かっていただければ最良と考えていたのが、弟路郎の生まれ故郷である釧路市動物園でした。

弟路郎が生まれた道内の動物園であり、その時のご担当者である成田さんが今もオランウータンを見ていらっやいます。

成田さんの飼育に対する情熱と真摯な姿勢には、これまで多くを学ばせていただきました。

釧路市動物園に弟路郎を預かっていただくための調整には、釧路の成田さん、獣医師の生駒さんをはじめ、長野市茶臼山動物園でオランウータンをご担当されていた高田さん、多摩動物公園の山本さん、野村さんなど、オランウータンに関わる多くの皆様にご協力をいただきました。

皆様のご協力のもと環境が整い、釧路市動物園に弟路郎を預かっていただくことが決まったのでした。

再会の日まで

弟路郎の釧路市動物園への移動時期は5月下旬に決まり、レンボーとレイトの園内動物病院への移動は6月上旬となります。



新施設の完成は 2023 年末頃。。

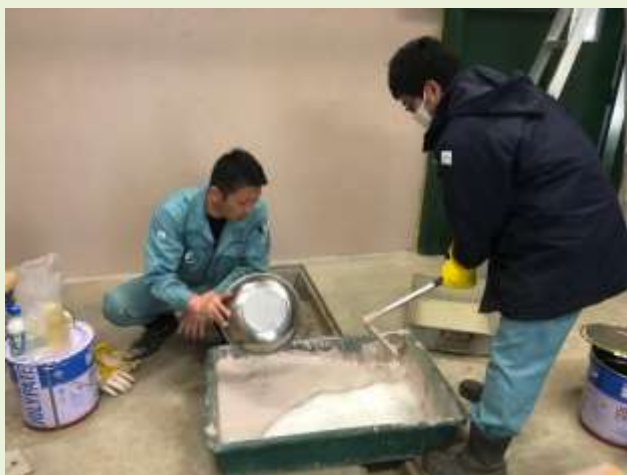
しばしのお別れですが、新しい施設に彼らが必ず元気に戻ってきて、再会し、その姿を来園者の皆様にご覧いただけるよう、全力で取り組んでいきます。



たとえば現在はというと、弟路郎の釧路市動物園への移動の準備と並行して、レンボーとレイトの移動先となる動物病院の居室の改修、作りこみを行っています。

上の写真はオランウータン仕様に檻などを設置したものです。

ここに、2年半の間少しでも彼らが快適に過ごせるよう工夫をしていきます。



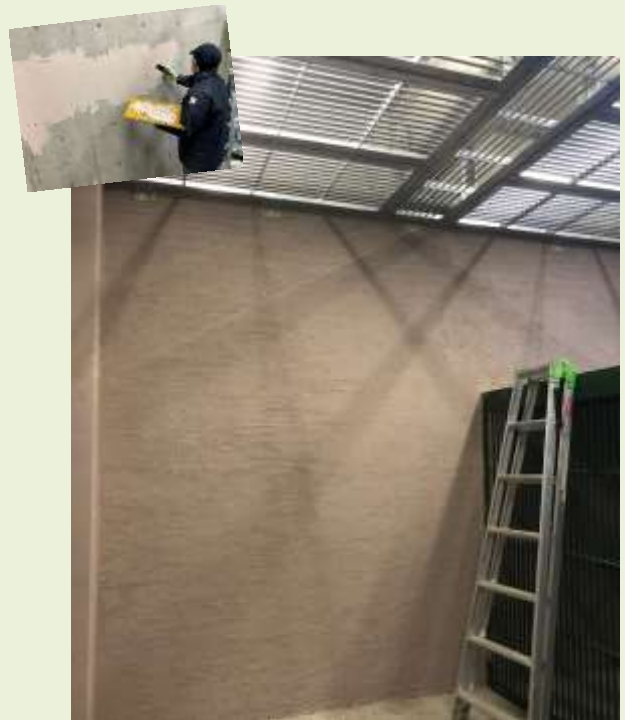
手始めはコンクリートの壁の塗装です。

彼らが長く親しんだ類人猿館の壁面は全て塗り壁となっているため、少しでも移動先でのストレスを軽減できるよう動物園全体で協力し、環境作りに取り組んでいます。

ちなみにこれは塗布する壁材を作っているところです。(当園管理係の皆さん)

そしてこねたものを手分けして塗ります。

もちろん私も、



まずは移動までの間、できる限りのことをして、移動を安全に終え、新施設での再開の日を彼らが元気に迎えらるよう万全の準備をしていきたいと思ひます。(了)

円山動物園とオランウータンを
応援して下さる皆様へ

弟路郎については釧路市動物園に無事に到着し環境に慣れ次第、公開ということになると思ひます。

レンボーとレイトは、動物病院では基本的に非公開となります。何らかの形で彼らの様子を皆様に届けられるようにしたいと考えています。

最後に当園へのご理解、ご協力とオランウータンたちへの多くのご支援に心より感謝申し上げます。

(李)